

「学生からの声」に寄せられた内容と大学からの回答

教務部・学生部

「学生からの声」は大学生活をより充実したものにするため、学生の皆さんから提案や意見を以下のアドレスから受け付けています。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScKQp1pet5n7LeTKK74INZ-1v8aH5CKsg-GRVggCvsF8jpVeg/viewform>

寄せられた内容は公開を原則としています。これまでに届いた学生からの声と大学からの回答を以下に示します（寄せられた内容には、個人情報に関わる部分等最小限の変更を加えています）

意見・要望・提案	回答案
日本が入国禁止を続けています。2022年度もできればオンライン授業を行って欲しい。	2022年度は全面的に対面授業を再開する予定です。このため、通学できない場合には休学し、通学が可能になってから大学の学修を継続することを勧めます。ただし入国制限など、特別な理由があると大学が認めた場合は、日本以外の国から zoom 学外配信による対面授業への出席を許可します。
生理用ナプキンを女子トイレ内に設置してほしい。Oitr（オイテル）などのサービスを活用してほしい。	学内のコンビニエンスストアで生理用品の販売しています。提案のあったサービス等の導入に関しては今後検討します。
卒業生たちのリユニオン(reunion)を行うことが、学校と長い関係につながると思います。毎年、お祭りのようにやって行ったら良いと考えています。	卒業した皆さんとのつながりを大切に、卒業生同士また卒業生と在校生の交流の場を設けることも大学の役割の一つであると考えています。既に学校教師学部では、卒業生と在学生の交流会を定期的に行っています。各学部にて実現可能な方法を検討します。
船橋駅のスクールバスを出してほしいです。全路線のバスの本数を増やしてほしいです。（一時間にせめて3本はほしいです。）	駅と大学を結ぶバスは無料にて運行していますが、現在より運行本数を増加した場合は、残念ながら有料での運行となってしまいます。学生の皆さんへの負担増を避けるために、増便は予定していません。路線の拡大も同じ理由から予定していません。
夜間学修を、すべて自室での自習にしてほしいです。教室での自習の時間も設けていただいているのですが、元々やる気のない学生は教室に集まっても何もしません。ひどい場合はやる気のある学生に邪魔をします。また、受講している講義の数によりますが、毎週のテストはキャパオーバーで、ただ受けるだけで復習の時間を充てることができません。コロナウイルス感染の心配がある期間だけでもいいのでご検討いただきたいです。	学校教師学部の高い採用試験合格率は夜間学修なしには達成できません。単に夜間に学修時間を設けているだけではなく、これまで実施している夜間学修の内容こそが高い合格率を実現していることを理解し、取り組んでほしいと願います。教室の自修環境保持には教員も協力しますが、なにより教員採用試験合格を目指す学生諸君が一人一人目的意識を持ち、お互いに士気を高め、夜間学修に取り組むことが大切です。「毎週のテスト」とは夜間学修における専修別試験を指していると理解しました。教員採用試験合格を目標とする学校教師学部生ならば十分に対応できると信じています。一週間の時間の使い方を見直し、試験の復習にも取り組むことを期待します。
寮での連絡を、先日導入された「sigfy」を使って行なってほしいです。Gメールでも良いですが、授業の連絡等と一緒にすると見づらいついています。紙の掲示や放送では、見逃したり、聴き逃したりすることも多く、少し不便に感じています。	現在、Sigfyを利用する準備を進めています。
体育館で、4人以下など人数制限をつけるなどして少人数で個人的な使用を認めていただきたいです。テニスコートやグラウンドでスポーツしている学生を見かけるので、体育館も同等の扱いをしていただければと思います。	学内施設の利用条件は新型コロナウイルスの感染状況に注意し、随時更新しています。今後感染状況が好転した場合には、適切な時期に体育館の使用も再開できると考えています。
寮でのクラスターが心配なのは理解できるが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出てから即制限があるのはアルバイト先にたくさんの迷惑をかけている。措置や宣言が発出された次週からの制限開始など、少し期間に余裕を持って対応させて欲しいです。	新型コロナウイルス感染対策として多くの制約が生じていますが、寮生の皆さんからの理解と協力を得ていることに感謝しています。今後の感染拡大に対しては、状況を慎重に判断しながら、可能な範囲で時間的余裕を確保しながら、行動制限のお願いをするようにします。ただし、皆さんの健康と安心のために緊急に対応せざるを得ない状況もあります。この点に関しては理解と協力をお願いします。
現在日本では新型コロナウイルスが深刻で、来学期も遠隔授業を継続してほしい	2022年度は全面的に対面授業を再開する予定です。そのため、通学できない場合には休学し、通学が可能になってから大学の学修を継続することを勧めます。ただし、入国制限を受けて来日できないなど、特別な理由があると大学が認めた場合は、zoom学外配信による対面授業への出席を許可します。
土曜日と3月の図書館及びカフェテリアの開放をお願いいたします。	学内施設の利用条件は新型コロナウイルスの感染状況に注意し、随時更新しています。今後感染状況が好転した場合には、適切な時期に学内施設の利用条件を緩和します。ただし、図書館は、大幅な蔵書整理作業のため3月閉館を予定しています。新年度より土曜日の利用が可能となりますが、感染状況に応じて変更する場合があります。
学内施設の利用について提案させていただきます。現在サークル活動も個人施設利用も禁止されていますが、そうなると運動不足による健康への悪影響が考えられます。そこで、学内施設の利用を申請形式にして限定的に利用することができるようにして頂くことは可能でしょうか。氏名・利用したい施設名・利用時間・利用目的を利用前にGoogleフォームに入力して提出した学生にのみ施設の利用を許可する形にする方法を提案させていただきます。私自身貴重な運動の機会も失われ、非常に困っています。是非検討をよろしくお願いします。	学内施設の利用条件は新型コロナウイルスの感染状況に注意し、随時更新しています。現在はグラウンドとテニスコートの利用を許可しています。感染対策に十分配慮し、混雑を避けて利用してください。屋内施設利用に申請と許可の手続きを導入することを検討しましたが、報道にあるとおり、現在、若者の屋内部活動での感染が広がっていることや管理上の問題から、特定学生の利用のみを可能とすることが困難です。このため当面は現在の利用方法を継続します。
教職履修カルテを記入するのが2年生の夏からだと、1年次の授業内容などは思い出すのが大変でどうしても記入する内容が薄くなってしまいました。1年次の前期が終わった時点から書き進められるようにしていただきたいです。	教職履修カルテは、教職課程での学びを記録する大変大切なものです。より充実したカルテの作成に向けた提案、ありがとうございます。1年生への教職履修カルテの説明は、2021年度と同様に、前期（第1セメスター）終了前に行います。来年度の1年生も今年度と同様に、前期終了時から教職履修カルテの準備を始めることができます。